

2020東京オリンピック・ パラリンピックに向けた 東洋大学の取り組み

＜特別講演＞ 14:10－15:10

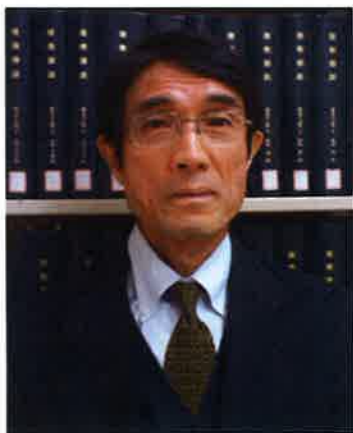
■『暑熱環境と住まいにおける健康』

講演者：京都府立大学大学院 生命環境科学研究科

生命環境学部 環境デザイン学科 教授 松原 斎樹氏

■講演概要

都市のヒートアイランド現象と地球温暖化の影響により、昨今の夏の室内環境は暑熱化しています。8月に開催される2020東京オリンピック・パラリンピックでは、アスリートの熱中症が危惧されていますが、加えて競技場のスタッフや観戦者、さらには自宅でテレビ観戦する市民にも熱中症発症のリスクがあります。暑熱環境における健康被害のリスクを低減するために必要な観点について、建築学および環境心理学的な観点から お話したいと思います。



■略歴

1977年3月 京都大学工学部建築学科卒業
同大学院を経て、
1986年5月 工学博士
1983年4月 三重大学工学部助手
1988年4月 京都府立大学生生活科学部助教授
1999年10月 同人間環境学部教授
2008年4月 同大学院生命環境科学研究科教授（組織改編）
＜学会・社会活動＞
人間－生活環境系学会会長
日本生気象学会幹事
京都府環境審議会委員
京都地球温暖化対策プラン検討委員会座長

＜研究ブランディング事業報告＞ 15:20－15:45

■『東洋大学研究ブランディング事業』について

報告者：東洋大学 理工学部 生体医工学科 教授

東洋大学 生体医工学研究センター長 加藤 和則

■概要

2017年度に採択された「私立大学研究ブランディング事業」では、生体のストレス応答を可視化し、アスリートサポート技術および高齢者の健康サポート技術の確立を目指しています。本講演では、本事業の2年間の取り組みについて紹介します。

＜プロジェクト報告＞ 15:45－16:10

■『東洋大学オリンピック・パラリンピック特別 プロジェクト研究』について

報告者：東洋大学 生命科学部 生命科学科 教授

東洋大学 工業技術研究所長 川口 英夫

■概要

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた東洋大学を挙げた取り組みの一環として、『アスリートを対象とした暑熱ストレス応答の可視化とストレス・コーピング方法の開発』を進めています。現在までの成果、2020年以降の社会実装を含めた今後の展望についてご紹介します。

●技術懇話会 16:30～17:30（福利厚生棟 シエスタ）

— 企業と本学研究者との意見・情報交換会 —

東洋大学 研究ブランディング事業 合同シンポジウム

＜日時＞

2019年2月22日（金）

14:00～16:10

＜会場＞

東洋大学 川越キャンパス
7号館 2階 721教室

＜主催＞ 東洋大学

工業技術研究所

生体医工学研究センター

＜共催＞ 飯能信用金庫

〈お問合せ〉東洋大学工業技術研究所
埼玉県川越市鯨井2100

電話：049-239-1322

E-mail：kougiken@toyo.jp

URL：http://www.toyo.ac.jp/
research/labo-center/riit/

同日開催！

研究発表（ポスター展示）

11:30～13:50

7号館3階にて